まちづくり委員会年間事業報告書

委員会:	名	まちづくり委員会					
委員:	長	田島 大輔	100%	副委	員長	能登屋 賢 治	95%
幹	事	伊藤 こずえ	78%	委	員	木村 篤史	42%
委	員	神保 英明	100%	委	員	川口 真人	75%

総括•所感

まちづくり委員会では3月に広域まちづくり協議会4LOM合同例会、10月にかみのやま未 来想造会議の二つの事業を行いました。主管として開催された4LOM合同例会では、例 年とは趣向を変えてソフトバレーによるスポーツ例会を行いました。ソフトバレーのチーム もLOMの垣根を超えた混合チームを作成することで例年以上に懇親に重きを置いた事 業を行い、参加者からも「疲れたが例年以上に懇親を深められた」との意見をいただくこ とができました。今回の4LOM合同例会を通し、より懇親を深めたことで4LOMの結びつき が更に強固なものとなり、お互いが刺激し合える環境が整えられたと感じました。今後の 4LOM合同例会でも懇親を深められる事業をぜひ続けていただきたいと思います。かみ のやま未来想造会議ではの「人口問題」をベースに若者と会議所メンバーによるディス カッションを行い、かみのやまの未来について考え、若者の上山市への関心と当事者意 識の醸成を図りました。終了後の参加者へのアンケートでは「かみのやまの現状がわか り、これからのかみのやまに対して考えるいい機会になった」と意見をもらい、これからの かみのやまを担っていく若者の人材育成にもつながったと考えられます。我々としても若 者が今のかみのやまをどのように考えているかを知ることのできるとても有効な事業にな り、我々の次の世代の意見を今後のまちづくりに活かせるいい機会になったと思います。 また、市議会議長からは「今後もこのような事業を定期的におこなってほしい。こちらとし ても若者の意見を聞ける場は貴重なため今回のような会議に呼んでもらえてよかった」と 意見をいただき、行政の方でも若者の意見に重きを置いていることが分かったので今回 の事業の有用性を改めて確認することができ、今後も定期的に今回のような若者の意見 を聞く機会を作れれば我々だけでなく、行政にとっても有益なのではないかと考えます。 無事に事業を終えられたのも副理事長はじめ、委員会メンバー、LOMメンバーの協力が あったからです。心より感謝いたします。一年間ありがとうございました。

事業報告

1	事業名	4LOM合同例会

実施日 平成30年3月7日(水) 19:00 ~ 22:30

実施場所 三友エンジニア体育文化センターエコーホール・アリーナ

懇親会 あづま屋

参加人数 上山JC 32名 山形JC 46名 天童JC 26名 山辺JC 8名

事業内容 「4LOM合同ソフトバレーボール大会」

例年とは趣向を変えたスポーツでの例会を行い、チームもLOMの垣根を 越えた編成を行うことで、例年以上に親睦に力を入れた事業を行いました。 懇親会も例会での班分けで席の割り振りを行いました。

予算額0円決算額0円

2 事業名 かみのやま未来想造会議

実施日 平成30年10月14日(日) 13:00 ~ 16:10

実施場所 三友エンジニア体育文化センター 軽スポーツルーム

参加人数 正会員28名、若者20名

事業内容 かみのやまの「人口問題」をテーマとして若者と会議所メンバーでディス

カッションを行い、かみのやまの未来について考え、かみのやまをどのよ

うにしていきたいのかを班ごとに全員で考えました。

予算額 80,000円 一次補正額 76,000円

決算額 67,418円